

神奈川県における人材育成に向けての試案

2024年12月15日
チームA

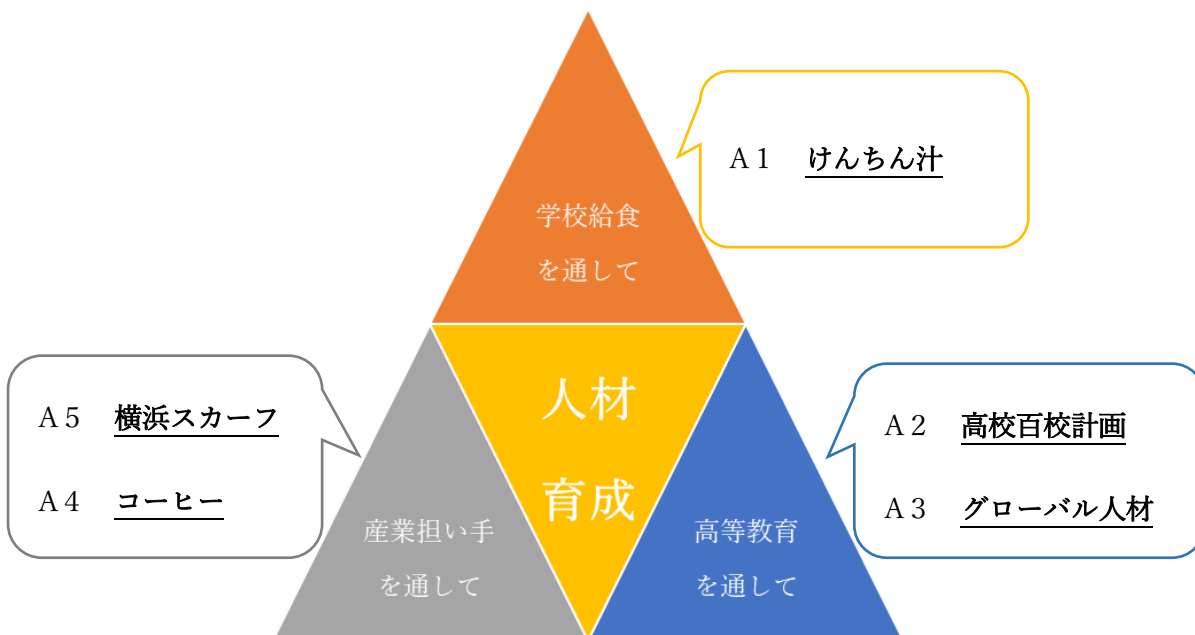
1. はじめに

Aチームは、以下の5名のメンバーから成り、それぞれの個人レポートのタイトルは次の通りである。

- A1：神奈川県のみ「けんちん汁」復活で取り戻す豊かな食生活 ～50年間に疎かになったことのひとつとして～
- A2：高校百校計画 すべての者に学びの場を ～広がる教育とその先へ～
- A3：日本の大学における留学生のグローバル人材育成：神奈川県内の事例として慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスにおける日本国内への就職支援への一考察
- A4：世界につながる横浜港 ～神奈川県から広がるコーヒーサプライチェーン～
- A5：未来へと「つながる」、「ひろがる」神奈川のみ「横浜スカーフ」の歩み（培ってきた匠の技、デザインが「世界へ」、「新しき匠へ」）

2. 共通点「人材育成」を目指して

メンバーそれぞれの取組内容から、浮かび上がってきた共通点となるキーワードを挙げたところ、候補として、「国際化」、「多様性」、「人材育成」に絞られた。これらのキーワードの中から、「つながる・広がる」ということを加味して、次世代につなげるという視点で、「人材育成」を共通テーマとすることになった。その構成としては、以下の図のように、「人材育成」を検討するアプローチとして、今回は3つの観点、すなわち「学校給食を通して」（A1）、「高等教育を通して」（A2, A3）、「産業の担い手を通して」（A4, A5）から考察するものである。



チームAの「人材育成」構成図

3. 各メンバーからの「人材育成」案

- 【A 1】経済成長の裏側でおろそかになった人々の食生活を復活させるべく神奈川県を誇る郷土料理を学校給食で復活させ、子どもたちの食の記憶として残すことにより、いずれ継承者として成長した時、次世代に引き継ぎ、広げることが出来ることを提案する。
- 【A 2】1973年～1987年神奈川県で行われた公立高等学校百校新設計画は、全国に先駆けて当時の高校生急増期に学びたい生徒に門戸を開放することで有効であった一方、学区の見直しが進まず学校間格差を発生させたという負の側面もあったが、進学率は上昇した。
- 【A 3】大学は、この半世紀の間、「国際化」から「グローバル化」に変化に伴い、グローバル人材の育成が求められ、国は留学生の日本国内への就職率を5割とする目標を掲げ、留学生対応で先導している慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスの事例を取り上げて考察する。
- 【A 4】横浜港のコーヒー生豆輸入は既に100年を越えた歴史があり、金額ベースで全国第1位を1990年以降続けており、神奈川県には多くの焙煎会社や飲料製造工場も集積しているが、輸入量減少、人口減少によって、サプライチェーンにおける担い手問題がある。
- 【A 5】横浜スカーフの横浜捺染と呼ばれる技法は、大元は浮世絵の制作技法である。1985年のプラザ合意後の繊維不況、海外からの廉価品の輸入によって、生産量、流通量は減少したが、業界全体として新しい試みを行っており、横浜スカーフの培ってきた匠の技、デザインを新たな匠へ継承していく人材が求められる。

4. 感想、気づき、今後の展望等

- 50年を振り返ることは私自身の生きてきた時間を振り返ることと重なった。論文を書くに際しては学生時代の単位を取るためのものとは異なり、知りたいことを探求する楽しさを大切にすることが出来、喜びがあった。グループワークにおいては、共通項を見出すために繰り返し行なったディスカッションを通して意見交換をすることの大切さを改めて感じる事が出来た。
見出した共通項「人材育成」はどのような分野においても「つなげ、ひろがる」には重要なキーワードであり、私の研究した「けんちん汁」においても幼い頃食べた記憶が、今回のテーマとして選ぶに至ったのだと思う。
- 『神奈川県内大学等在籍留学生調査結果』を初めて知り、毎年度ごとに留学生が在籍している約38の大学名と在籍者数、日本国内への就職者数と割合もわかり、大変便利なデータに改めて感謝している。神奈川県立公文書館への見学もとても有意義であった。
- 横浜港におけるコーヒー生豆の輸入量増加の背景には、半世紀にかけて人々のコーヒーに対する楽しみ方の変化が背景にある。消費の多様性が影響し、コーヒー消費が増加すると焙煎や製造する企業が増えたことで神奈川からコーヒー文化が浸透したといえる。
- 横浜市では、地域資源をいかにして活用するかを業界と協力し調査、研究を行い、県内所在地を有する大学においても地域資源（横浜スカーフ）の未来を見据えた研究を行っている。行政、産学協同により「培ってきた匠の技、デザインが「世界へ」、「新しき匠へ」との道を、いかにして新しき匠の育成のための検討を行っているといえる。